



板橋ともゆき 市政レポート

2011

Itabashi Tomoyuki Report

vol.23

地域の実情に応じた 子ども手当の制度設計を



子ども手当での開始にあたり、政府は当初、マニフェストにおいて全額国庫負担するとしていたものを、地方が再三にわたりに国が全額を負担するよう申し入れを行ったにもかかわらず、国の財源不足から地方との十分な協議もないうまま、一方的に地方負担を決定したものであり、地方として子ども手当対象者への配慮から、地方負担はあくまでも今年限りの措置として受け止めたものであります。



こうした中、政府は、来年度以降の子ども手当について、平成23年度予算概算要求において、今年度同様、地方との十分な協議もないうまま、再び地方負担を含めた要求とした事は誠に残念でなりません。

一方で政府は、保育料や給食費等の未納分を子ども手当の支給額から天引き出来る制度改定をする方針を打ち出した事は評価できるものと考えます。

今後は、これに止まらず、地方主権の理念に基づき、地域の実情に応じた総合的な子育て支援策を国と地方の役割分担を明確化した上で子ども手当は、全額国庫負担とすること等、しっかりと構築をして戴きたいものです。



出前市政報告会!

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様にも市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしております。



蜷川幸雄氏が川口市市民栄誉賞に

今年度の文化勲章受章者に、本市出身の国際的演出家である蜷川幸雄さんが、その栄誉に輝きました。今や「世界の二ナガワ」として内外に知られる蜷川さんの舞台芸術の第一人者としてのご功績は申し上げるまでもありません。

蜷川さんは、その受章に際して、「生まれ育った川口が僕の中で息づいている」、「仕事の原点は川口の人と街」とおっしゃっており、川口市民の一人として、これほど誇らしく、うれしいことはありませんし、こうした文化人を輩出したことは、正に川口市にとって光栄なことです。

平成5年に『テンペスト』、7年『近松心中物語』、10年『NINAGAWAマクベス』、そして12年には『元禄港歌』の4作品が川口総合文化センター・リアで上演されましたが、躍動感あふれる演出で受けた感動は、今でも記憶に



新しいものがあります。近年では、彩の国さいたま芸術劇場での芸術監督としての指導等で、ふるさと埼玉の文化向上にも大きく貢献されています。

そこで、この度の慶事を契機に、芸術文化その他の分野で輝かしい業績を挙げられ、本市の名を高め、市民に明るい希望を与えることに顕著な功績を挙げた方の栄誉を称えるため、新たに川口市市民栄誉賞を創設する事となり、去る11月10日の川口の日に行われた川口市表彰式にあわせ、その栄えある第1号を蜷川幸雄さんが受賞されました。蜷川さんにおかれましては、引き続き、文字通り世界を舞台にしてのご活躍をお祈り申し上げます。

生活道路の速度規制に関わる取り組み

平成18年9月25日、本市の戸塚地区において発生した保育園児・保育士を巻き込んだ悲惨な交通事故は、皆さんの記憶の中に未だに強く焼き付いていることだと思います。

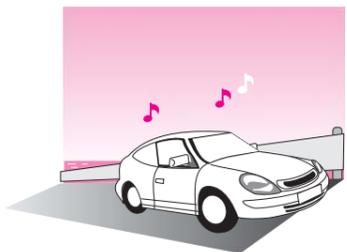
川口市は、この事故を契機に、二度とこのような事故が繰り返されないよう、様々な取り組みをしてきました。交通事故から子どもたちを守るための緊急アピール、国・県等に対して交通違反の罰則強化・法定速度の改正などの要望、また、事故が発生した戸塚地区では安全対策工事を速やかに実施、これにあわせて、

本市の要望に基づき同地区内の速度規制が強化されたところです。

さらに、市内全域の生活道路全てを最高速度時速30kmに規制するため、国に対し構造改革特区を提案するなどの方策を講じた結果、埼玉県警から、個々の道路については、速度規制の要望に応じる旨の回答を得たため、市内184町会に対し速度規制に関わる要望調査を実施し、平成21年2月に、その調査結果を踏まえた要望書を埼玉県警に提出したところです。

こうした中、平成22年4月には、芝地区と西川口地区の一部の区域を定め、その区域内の道路は全てを最高速度時速30kmとする面的規制の提案が埼玉県警からなされ、そのための調査も全て完了し、この度、全国初のモデル的な取り組みとして実施の方向性が示されました。

また、今回規制対象外となりました32路線と武南警察署管内につきましても、川口警察署管内と同様に、引き続き調査を進めていく事になっています。



全国都市農業振興協議会が設立

一昨年10月に開催された「都市農業サミット」では、都市農地の保全と都市農業の振興を図るため、多くの施策提案を採択し、それらの実現について、国や関係諸団体に理解と協力を求めたところです。

こうした事を背景に「全国都市農業振興協議会」の設立総会が、昨年10月18日、70都市と4つの団体から賛同を得て、各都市の市長、農業関係者及び自治体関係者など約100人が出席し、盛大に開催されました。

当日は、松木農林水産大臣政務官のほか、全国市長会や農業関係団体の代表者の方々をご来賓にお招きし、規約や役員人事、活動方針など協議会組織の基本的事項について取り決め、設立宣言が採択されました。

その内容は、都市及びその周辺の農地と農業の復権と再生をスローガンに掲げ、「都



市農業を支援する包括的法制度等の創設・拡充」と「都市部における農地の存在意義の認知と都市づくりにおける計画的な農地の保全・活用の推進」、さらには「農業に関わる相続税軽減措置の拡大と相続税納税猶予制度及び生産緑地制度の要件緩和」、以上3つの主要施策提案が宣言に盛り込まれました。

川口市学校給食条例の制定

本協議会の設立を契機に、全国の関係自治体等が連携し、積極的に活動を展開することが、やがては都市農業の復権と再生に繋がるものと大いに期待をしたいものです。

川口市の学校給食の取り組みは、昭和22年の給食実施にさかのぼり、以来今日まで安定的に給食事業が継続され、児童生徒の体位の向上と心身の健全な発達に大きな役割を果たしてきました。

この間、学校、家庭、地域が連携して健康教育の充実に努めているとして、例年のように、市内の小中学校が埼玉県の学校給食優良学校表彰を受けているところでありま

部科学大臣表彰の栄誉に輝きました。さて、市立小中学校71校の学校給食を安定的に継続実施する上で、欠かすことのできない食材の購入については、昭和37年に設立されて以来、長きにわたり財団法人川口市学校給食協会が担って参りましたが、IT化による事業効率の向上などに加え、第三次川口市行政改革大綱に基づき外郭団体の見直し等により、当該財団は平成23年3月末日をもって解散することになりました。

当該財団の解散後については、安全・安心な学校給食の確保や食育への対応など総合的な観点から、その業務を川口市が引き継ぐことになり、この度、学校給食を実施していく上で必要となる給食費の徴収及び事務の取り扱いなどの基本的事項を定めるための「川口市学校給食条例」が制定されました。

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適な判断力を養う上で重要な役割を果たすことから、より一層の安全・安心な学校給食の提供と食育の推進に努めてまいります。



twitter (ツイッター)
始めました!

http://twitter.com/itabashi_tomo



板橋ともゆき プロフィール



昭和36年11月4日(丑年) 川口市東本郷生まれ
血液型:B型
こばと幼稚園 新郷小学校 東中学校
市立川口高等学校
中央工学校 卒業
資格:宅建 2級建築士
不動産コンサルティング技能登録者
ファイナンシャルプランナー (AFP)
平成15年市議初当選 (3194票)
平成19年市議2期目当選 (3918票)

市議会議員に出来る事は何なりとご相談ください!



板橋ともゆき政務調査事務所

〒334-0061 川口市新堀841番地

TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644

e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ!

各社のバーコード対応機種で
ご利用出来ます。



ご意見・ご要望を下さい!

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。
ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています!

FAX

送信用紙 **048-285-9644**

◆ご意見を記入して下さい。

Blank lines for writing comments.

フリガナ
お名前

住所 〒

電話番号

FAX 048-285-9644